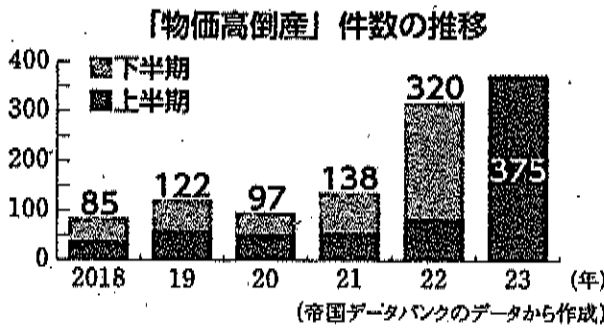


# 「物価高倒産」最多に

## 上半期で通年の記録更新

帝国データバンクが10日発表した2023年上半期(1~6月)の全国企業倒産集計(負債額1000万



円以上、法的整理のみ)によると、国内企業の「物価高倒産」が375件に達しました。通年での過去最多(22年の320件)を半年で上回りました。

物価高倒産とは、仕入れ価格の上昇や価格転嫁の困難などに起因する倒産。23

年上半期に月間平均(23年1~6月)で63件が発生し、前年(22年1~12月)の27件を大きく上回るペースで推移しました。この勢

いが続く場合、今年の累計は700件台に到達する可能性があります。

業種別にみると「建設

業」が83件で最多でした。

建築資材や人件費の上昇による影響が目立ちました。

「製造業」(79件)では食料価格の高騰を背景に食品関連産業で増加。「小売業」

(48件)では、前年上半期で物価高倒産がなかった飲食店で16件発生しました。

要因別の最多は「原材料(価格の高騰)」の34・1

%ですが、前年同期に比べて割合は大きく低下。一方

で「包装・資材」(27・5%)や「人件費」(15・2

%など4要因では前年同期の割合を上回り、特に人

件費の割合は前年同期(5

・2%)の約3倍に拡大しました。